

みなさまの声にお応えできるよう活動に励んでいます。



教育評論家の尾木直樹さんとラジオ収録



自民党女性局の仲間と一緒に小倉織で手作りマスク



自民党中央政治大学院のネット出前講座で講師を務めました



10月13日、日本臨床耳鼻咽喉科医会の先生方に発熱外来体制整備への支援についてweb説明会を開催



7月20日、厚労政務官として新宿歌舞伎町新型コロナウイルス感染症の対策徹底を呼びかけ



9月28日JICA議連としてJICA予算拡充を求める決議を加藤勝信内閣官房長官に申し入れ

自見はなこ 参議院議員
医師 (小児科専門医・認定内科医)

ひまわり通信

国民一人ひとりに寄り添った
命と健康を守る政策を実現します!

2020年 晩秋便り

自由民主党東京都参議院比例区第八十七支部

参議院厚生労働委員会理事、自民党青年局長代理に就任いたしました!

10月26日、菅内閣のもとで初の本格的な国会となる第203回臨時国会が召集されました。今国会は12月5日まで41日間の予定です。

私は、参議院厚生労働委員会理事を拝命し、新型コロナウイルスのワクチン接種関連法案など緊急性の高い法案審査に臨むこととなります。しっかりと緊張感をもって取り組んで参ります。また、自民党内においては、10月6日の総務会において、青年局長代理、中央政治大学院副院長、厚生労働部会副会長への就任が決まりました。青年局は、45歳以下の若手国会議員、地方議員、自営業者、会社員や学生などで構成する全国組織です。中央政治大学院は、自民党が国や地域の将来を担うのにふさわしい人材を発掘、養成するために、総裁直轄機関として設置された機関です。

安倍前総理に就任のご挨拶に伺った際、「若い世代との更なる交流や青年局のネットワークを生かして人材発掘をしてほしい」と応援のメッセージを頂きました。厚生労働部会においても、1年間の行政経験を活かしてより一層踏み込んだ議論ができるよう頑張ります。また、菅総理大臣が「デジタル庁」創設を看板政策に掲げる中、10月13日に自民党デジタル社会推進本部幹事を拝命したことに、身の引き締まる思いです。オンライン診療の適切な運用など、しっかりと取り組んで参ります。

10月26日には、自民党少子化対策特別委員会幹事を拝命致しました。これまで成育基本法推進議員連盟事務局長として子ども達を真ん中に置いた社会作りに取り組んで参りました。現在、厚生労働省において成育医療等基本方針の策定作業が進んでいます。



二階俊博幹事長、林幹雄幹事長代理に青年局長代理就任のご挨拶



麻生太郎副総理兼財務大臣に青年局長代理就任のご挨拶

議連としてもしっかりとフォローするとともに、特別委員会幹事としても子どもを産み育てやすい社会のために頑張ります。

そのほか、HPV ワクチンの積極的勧奨再開も含む「女性の健康」を巡る問題にもより一層力強く取り組んで参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

参議院議員・医師 自見はなこ

参議院議員・医師 自見はなこプロフィール

筑波大学国際関係学類卒業
東海大学医学部医学科卒業
東京大学医学部附属病院小児科勤務

虎の門病院小児科勤務
日本医師連盟参与・日本小児科医連盟参与
東海大学医学部医学科客員准教授

自民党比例代表(全国区) 当選1回(H28) 昭和51年2月15日生まれ
参議院厚生労働委員会理事、自民党厚生労働部会副会長、自民党女性局長代理等を歴任し、第4次安倍再改造内閣では厚生労働大臣政務官を務める

TOPICS

超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟 第4回総会

資料：循環器病対策推進基本計画



9月30日、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」の理念を具体的施策に活かし、循環器病対策推進基本計画等が充実したものになるようフォローアップすることを目的とする「超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟」(会長：尾辻秀久参議院議員、事務局長：自見はなこ)の第4回総会を開催しました。これまで開催した3回の総会と、オンラインで行ったヒアリングを通じて基本計画に盛り込むべき事項について議論して参りました。今回は、これまでの議論を踏まえて厚生労働省が作成した最終案の報告を受け、詰めの議論となりました。

基本計画は、①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実、③循環器病の研究推進、これらを三本柱とする全体目標と、個別施策が中心的内容です。政府案について議連として大筋で了承し、若干の修正は尾辻秀久会長一任となりました。基本計画は10月27日に閣議決定されました。



ナビゲーターとしてラジオ番組に出演



ニッポン放送 毎週日曜 6:04~6:13 放送
ABCラジオ 毎週日曜 6:20~6:29 放送
九州朝日放送 毎週土曜 6:15~6:24 放送

ニッポン放送
東京 茨城 山梨 神奈川 栃木 福島 千葉 群馬 長野 埼玉 静岡 新潟

ABCラジオ
大阪 兵庫 京都 岡山 奈良 香川 和歌山 徳島 および広島 滋賀 高知 三重 大分 岐阜 鳥取 愛知の一部

KBCラジオ
福岡 熊本 愛媛 佐賀 大分 香川 長崎 鹿児島 山口 広島

「ひまわり会」入会のご案内

「ひまわり会」は政治資金規正法上の政治団体です。自見はなこの政治活動を支援するため、ひまわり会への入会を募集しております。

賛助会員(年間1口1万円から)には、ひまわり通信、その他ご案内をお送りします。会費は政治資金規正法上の政治団体に対する寄付となり、税控除対象となります。

上記エリア外でもこちらから配信後の音声をお楽しみいただけます
<http://www.1242.com/radio/sukusuku/>





厚生労働大臣政務官を退任いたしました。 新型コロナウイルスに全力で対応しました！ みなさまのご支援ありがとうございました。

2019年9月13日の就任から1年あまり拝命した厚生労働大臣政務官を、9月16日、第4次安倍再改造内閣の総辞職に伴い退任することとなりました。

労働・子育て支援・年金担当として、医師の働き方改革や成育医療等基本方針の策定作業、年金制度改革等に取り組むと共に、本年1月からは「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部」(本部長：加藤勝信厚生労働大臣)本部長代理として、未知の脅威との



戦いの最前線を担わせて頂きました。加藤大臣をはじめとする厚生労働省のスタッフ、国と自治体の連携強化にご尽力賜った全国知事会の皆様、現場を支えて下さった医療機関や地方自治体職員、

保健所の皆様、専門家会議等でご一緒させていただいた皆様、そのほか全ての関係者の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

コロナ下での保健所・医療機関支援など地域に寄り添った支援のあり方、妊婦の不安に寄り添う母健措置、G-MIS、HER-SYSなどICTの基幹サービス構築に参画させていただいたことも、大変貴重な経験になりました。

9月15日に開催された安倍内閣最後の閣議では、医療提供体制の強化に予備費から1兆1,946億円の支出が決定しました。厳しい経営にある医療機関を支え、秋冬に必要とされる発熱外来をより多くの医療機関で展開して頂く事で、国民の安心にも繋がるよう、私自身も懸命に働いて参ります。

若輩未熟の私がこのような重責を全うできましたことは、ひとえに皆様方の力強いご支援と厳しくも温かいご指導の賜物です。本当に有り難うございました。新型コロナウイルス感染症との戦いは道半ばです。政府の立場は離れますが、医師として、国会議員として、国民の命と健康を守るため引き続き全力を尽くします。



厚生労働大臣政務官退任に際し
コロナ対策本部の皆さんと



大隈和英衆議院議員と
厚生労働大臣政務官交代式

資料：新型コロナウイルス感染症に対応した
医療機関等への更なる支援



誰もが等しく高水準の医療が受けられる社会が 次の世代に受け継がれるよう全力を尽くします！



深刻な経営難にある小児科への支援について、
日本小児科医会からの要望を10月27日に田村憲久厚生労働大臣、
11月9日に加藤勝信内閣官房長官に申し入れました

成育基本法推進議員連盟 第12回総会を開催

11月4日、成育基本法推進議員連盟の第12回総会を開催致しました。今回は、年末に閣議決定予定の成育医療等基本方針の素案を厚生労働省から示したほか、日本小児科医会の神川見会長から新型コロナウイルスの影響による受診控え等により小児科医療機関の経営難が深刻な水準にあるという訴えがありました。また、一般社団法人日本ドゥーラ協会の宗祥子代表理事から、母子と家族を支える産後サポートの重要性をご講演頂きました。

小児科医療機関の安定的な運営と、充実した産後サポートは、子ども達の健やかな成長に不可欠の要素です。今回頂いたお声をしっかりと受け止めるとともに、成育医療等基本方針が充実した内容になるよう、しっかりとフォローして参ります。

将来的な目標としては、現在は内閣府、厚生労働省、文部科学省などに分かれている子ども・子育て行政の縦割り解消のため、「子ども家庭庁」の創設に向けて引き続き頑張ります。



9月14日、自民党総裁就任直前の
菅義偉 現内閣総理大臣に、子ども家庭庁構想を
ご説明させて頂きました

2022年夏の参院選(比例代表)に向けて全力投球します！



2020年9月15日、第26回参議院比例代表選挙における日本医師連盟組織内候補に推薦いただくことが決定致しました。2022年7月施行予定の参議院議員選挙に向け、誠心誠意力を尽くし臨む決意です。
わが国の社会保障を取り巻く環境は、少子高齢化、財政事情に加え、新型コロナウイルス感染症という未曾有の驚異を前に、かつてなく厳しい情勢にあります。皆様のお声を国政に届け、わが国が世界に誇る国民皆保険制度を守り、次の世代に安心の社会をバトンタッチできるようお誓い申し上げて、推薦決定のご報告と御礼のご挨拶とさせていただきます。

